

(土石流被害の防止による評価)

(区分) 国補

事業名	復旧治山(通常)	事業箇所	笛吹市	芦川町	鶯宿	地区名	鶯宿新倉(おうしゅくあらくら)	事業主体	山梨県
(1)事業概要								妥当	妥当でない
①課題・背景 本箇所は、笛吹市芦川町鶯宿地区を流れる一級河川芦川支流の荒廃溪流である。平成30年9月30日から10月1日にかけて発生した台風24号の豪雨により、山腹崩壊が発生し、これを発生源とした不安定土砂が溪床内に多量に堆積している状態である。当面は災害関連緊急治山事業で谷止工1基を整備し、不安定土砂の下流への流出防止を図るが、その後も引き続き治山事業を実施し、保全対象の保護を図る必要がある。								③事業の妥当性評価 ①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) ・森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/>	
②整備目標・効果								②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) ・森林法第41条第3項の規定により都道府県知事が整備 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/>	
□主要目標 ○土石流災害の防止 保全対象 人家7戸 県道300m 市営林道30m 土砂整備率 (現況)8%<70% ※ 災害実績 有 (平成30年度10月発生台風24号による豪雨により拡大崩壊)※ 重要公共施設 有 (芦川ふれあいプラザ(福祉避難所)) (第二次緊急輸送道路 県道笛吹市川三郷線)※ (※ 評価基準値)								③経済妥当性 費用便益比 便益(B)／費用(C)= 2.09 >1.0 ・便益(B)= 255 百万円 ・費用(C)= 122 百万円	
□副次目標 -								④事業実施・規模の妥当性 ・流域内は不安定土砂が堆積しており、下流へ流出する恐れがある。 なお、砂防ダムの計画はない。	
□副次効果 ○被災時の被害波及の防止 (福祉避難所 芦川ふれあいプラザ) (第二次緊急輸送道路 県道笛吹市川三郷線)								⑤整備手法の有効性 ・土砂流出防備保安林に新たに指定し、森林の有する公益的機能を高める。	
								⑥環境負荷への配慮 ・切土法面は緑化し、裸地を残さない ・使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を軽減する	
								⑦事業計画の熟度 ・地元笛吹市より強い要望あり <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/>	
								<妥当性評価> ・7項目すべて妥当であることから、妥当と判断	
(2)整備内容と整備量								④事業間優先度評価 ・貢献度ランク: a 副次効果ランク: 1 優先度評価: S1	
①整備内容 谷止工2基 山腹工A=0.15ha								⑤総合評価 ・(3)及び(4)の結果から「最優先」に実施 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/>	
②整備期間 平成31年度～平成32年度									
③総事業費 130百万円(国費 59百万円(1/2) 県費 71百万円(1/2))									
④全体計画 平成31年度 谷止工2基 70百万円 平成32年度 山腹工0.15ha 60百万円									
⑤既整備内容・期間・事業費 平成30年度 谷止工1基 45百万円(災害関連緊急治山)									
【事業位置図等】									